ツール・ド・九州2025

成功へ機運高まる

博多駅前でプレセレモニー

プレツアーに参加するサイクルインフルエンサー

10月10日から4日間にわたり九州5県（長崎、福岡、熊本、宮崎、大分）で国際サイクルロードレース「マイナビ ツール・ド・九州2025」が開催される。大会の成功と、サイクルツーリズムによる九州の魅力発信を祈念するプレツアーセレモニーが7月25日、JR博多駅前広場で開催された。

主催の国土交通省九州運輸局をはじめ、大会関係者が一堂に会し、世界レベルの大会へと成長させる決意を新たにした。

セレモニーは「～熱い走りを美しい九州を世界へ～」をテーマに九州運輸局が主催し、大会実行委員会などが協力した。

冒頭、主催者あいさつした日向弘基・九州運輸局長は「4日間で5県をまたぐ国際レースを通じて、国内外の方々に九州各地の魅力を知っていただき、さらなる観光振興につながることを期待している」と述べ、大会がもたらす地域活性化への効果に言及した。

来賓として登壇した大会実行委の会長を務める池辺和弘・九州経済連合会会長は、先ごろ同副会長の服部誠太郎・福岡県知事らと世界最高峰の「ツール・ド・フランス」を現地視察した経験に触れ、「120年以上の歴史を誇る大会は、まち全体がお祭りのように盛り上がっていた。23年に始まり3回目となるツール・ド・九州も、世界トップレベルの選手が参加する。さらに盛り上げていきたい」と力強く語った。

同じく視察に同行した服部知事も「現地の熱気は凄まじく、レースというよりフェスティバル。博多でいえば山笠のようだった」と興奮を隠さず、「この学びを生かし、ツール・ド・九州を九州の誇りとなる大会にし、今後100年続く世界的なイベントに育てていきたい」と、長期的なビジョンを掲げた。

式典では、地元チーム「VC FUKUOKA」の向川尚樹選手、辻野壱哉選手、中島雅人選手の3人が紹介されたほか、サイクルインフルエンサーの工藤友美さん、Bekiさん、ニック・サーズさんと、大会応援団のくまモンによるトークセッションも行われ、それぞれの視点から自転車ロードレースの魅力が語られた。

セレモニー終了後、インフルエンサーらは福岡ステージのコースが設定されている八女市へ移動。実際にコースを走行する「プレツアー」に臨み、後日、SNSなどを通じてリアルなコースの魅力や情報を国内外に発信する予定。

行政、経済界、そして競技者が一体となり、九州が誇る美しい自然や文化を舞台にした大会の成功へ向け、機運は一層高まっている。

【後田大輔】

地域観生と観光ビジネス

第81回

東京都×淑徳大学　観光経営人材育成講座　今年は尾瀬に

東京都と淑徳大学が連携して推進する「地域が誇る自然資源を活かした観光経営人材育成講座」の令和7年度受講生募集を、近ごろ開始した。

観光関連の活動や事業に従事する・従事したい方、自然資源を活かしたツーリズムで観光まちづくりを志す方・興味がある方で、東京都在住・在勤者を対象に、無料で受講できる。

それが、初回となった昨年度を上回るペースで、多くの方々から受講申し込みをいただいており、うれしい悲鳴に。定員に達し次第、締め切る予定だが、対面会場の拡張なども検討したいと考えている。

申込者の属性をみると、観光業界以外のひとも少なくない。自然資源を活かしたツーリズムへの関心の高さ、裾野の広がりを実感している。

リピーターも大歓迎の本講座。対面受講のあとの会費制のオフ会が去年、熱気むんむんだったから、今年も実施するつもりだ。本講座の受講をきっかけに、大きな輪ができ始め、場づくりの提供にもなっているようだ。

今年は講座回数を、全10回から12回へと増やした。事例研究には沖縄のほかハワイを。また、環境省の自然保護官や国立公園管理官の方々にも協力を仰ぎ、より実践的な学びを追究した。

ツーリズムは、座学だけでは伝えきれないことが多い。経営人材の育成とあれば、なおさらだ。そこで昨年度、好評だった東京・青梅「みたけ山ネイチャー体験（日帰り）」に加えて、新たに1泊2日の「尾瀬ネイチャー体験」を用意した。

群馬・片品村（梅澤志洋村長）と東京パワーテクノロジーの協力のもと、秋の尾瀬ヶ原で間伐体験や外来生物除去を学ぶ。言わずもがな、尾瀬は自然保護運動発祥の地。しかもフィールドワーク催行の9月は、星野リゾート初の山ホテル「LUCY尾瀬鳩待」が開業するころで、最新情報も得られそうだ。

こうしたフィールドワークの候補地選定は、実は自身が縁する（すなわち、応援する）自治体でもある。

青梅市では「おうめ観光戦略推進懇談会」の会長を、片品村では「尾瀬かたしな未来構想委員会」の座長を拝命しており、自らが太鼓判を押してプログラムに導入した経緯がある。

自然との共生をはかりながら持続可能な観光を推進しようと、日々、奮闘する自治体の人たちの姿を、ぜひ多くの受講生の方たちにも知ってもらい、これからのツーリズム推進に活かしてもらいたいと考えている。

ちなみに3カ年事業の本講座は、来年度が仕上げの年になる。そこで、フィールドワークのアドバンス・コースとして「みちのく潮風トレイル」の新たな導入も検討している。調整はこれからだが、やはり自身が岩手県「いわて観光立県推進会議」の委員を務めているので、三陸沿岸を第一候補に考えている。お楽しみに。

最後に一つ、重要なインフォメーションを。さまざまなご事情で、通学による座学の受講やフィールドワーク参加ができない方もおいでしょう。受講登録者は、後日、淑徳大学YouTubeチャンネルで動画視聴ができ、見逃しがないことを申し添えます。

（淑徳大学経営学部観光経営学科学部長・教授　千葉千枝子）

＝隔週掲載

体験型観光が日本を変える〈406〉

体験教育企画社長　藤澤　安良

米国との関税交渉が一応決着したように報道されたが、合意文書の有無を巡って与野党で見解の相違がありそうだ。その与党・自民党では石破おろしの風が吹いている。一方で党員でないメンバーから「石破やめるな」コールやデモまで行われている。政局の先行きが見通せない。

夏休みが始まった途端に空港が混みだしている。今日乗った朝の高知便は満席であった。子供連れが目に見えて多くなった。学校の授業がある時は旅行に行かず、休みになったら出かける。日本人は実に真面目である。

外国人の小中高の子供連れは日本国内で年中見かける。異国を見聞、体験し、社会性を高め見識を深めることは重要な教育機会である。授業では学べないとも多くのものを学ぶことになる。国際競争力が低下している今日、グローバル人材養成には海外旅行の学校公休制を導入すべきである。

それにしても、国内の宿泊料金の高さが気になる。今までが安すぎて、持続可能な経営に至らなかったのか、繁忙期と閑散期の宿泊人数格差が大きくて、取れる時に取らねばならないのか、インバウンド客の拡大もあり、都市圏を中心にホテルの宿泊料も大きく値上がりしている。軒並み出張旅費規定を超えてしまい、規定改訂や実費支払いになっているところも少なくない。

旅に行けなくなる入り口に？

そんな夏休みの始まりの7月25日、沖縄北部に総工費700億円を費やして「ジャングリア沖縄」が開業した。私も、すでに8月に行く予定でチケットを取った。

今回は、施設に近い北部地域での宿泊を確保した。ジャングリアのように、終日時間が必要なテーマパークができたことにより、美ら海水族館やマングローブカヌーや従来からのマリンスポーツ等との相乗効果の期待は膨らみ、那覇市内や南部に戻っての宿泊が多かったが、北部地区に宿泊する合理的な理由ができたことになる。

つまりは、北部振興に大きく貢献することが期待される。初日の報道で待ち時間や並ぶ列の長さが気にかかる。TDRもUSJも大阪・関西万博も鋭意努力中なのであろうが、やっぱり並ぶし待ち時間が長い。

ITやDX化が叫ばれて久しいが、そのロスタイム、労力ロスをなくさなければ真の豊かさにはたどり着けない。旅が万民の生活の一部となるように、政治も社会も、生き方の変革につながる旅行価値や時間価値についてどう行動すべきか、その時が来ている。

嫌味だが、部屋は小さいまま、部屋に露天風呂がついているわけでもないのに宿泊料金がコロナ前の3倍以上というのもざらにある。夏休み、大人2人と中学校、小学校低学年と幼児の5人1室で1泊10万円を超えてくる。少しいい宿と思えば20万円にもなる。

参院選での1人2万円だの、家族に10万円だのと言われても、夏休みに1回の旅行もままならない金額なら、子供たちの夢をもかなえられない家族も少なくない。それらの金額により、万民が旅に出られない時代の入り口に差し掛かった。

価値の基準を考え直さなければならない時に来ている。

大阪・奈良楽遊パス「南部」版を販売

奈良県は大阪観光局と連携し、両府県の観光施設や名所をお得な価格で巡れる「大阪・奈良楽遊パス」を販売しているが、関西空港―大阪・奈良中南部を巡る「南部」について、レンタカーとのセット券を造成、このほど発売した。

国内外から来る大阪・関西万博の来場者に、より広域で観光を楽しんでもらうのが狙い。県と観光局が昨年5月に結んだ、包括連携協定事業の一環。

商品名は「大阪・奈良楽遊パス（南部）2日券＆レンタカー」で、販売額（2人）は4万2602円から。来年3月末まで販売し、同4月末まで使える。

対象となる観光施設は大阪が岸和田城、関西サイクルスポーツセンター、奈良は長谷寺、石舞台古墳、室生寺など計19施設。レンタカーは関空で借りられ、近鉄大和八木駅前店に返す。

OTAサイトから購入でき、スマホの画面上に表示したQRコードでレンタカーと施設の利用が可能となる。

大阪市内―奈良公園周辺を巡る「北部」パスは5月に販売している。

かんがい遺産に2施設を登録

ICID

農林水産省によると、国際かんがい排水委員会（ICID）は、日本が申請していた2施設を「世界かんがい施設遺産」に登録することを決めた。9月10日、マレーシアのクアラルンプールで認定式を行い、認定証と記念盾が授与される。

登録されたのは熊本県山鹿市の「湯の口ため池・井手」と大分県竹田市の「竹田のかんがい用水路」。

このうち、竹田のかんがい用水路＝写真＝は江戸時代から大正時代に造られた21本の用水路の総称。国内最大規模とされる石造りの水路橋「明正井路」などがある。

日本の世界かんがい施設遺産はこれで56となる。世界には177カ所あり、日本は中国（38）、インド（22）を上回り、最も登録施設が多い。

暑中お見舞い申し上げます　令和七年 盛夏

株式会社ホテル玉泉　曲水の庭 ホテル玉泉　出雲・玉造温泉　政府登録国際観光旅館（登録第880号）　代表取締役 鳴嶋 実　〒699-0201 島根県松江市玉湯町玉造53-2　TEL0852-62-0021(代)　FAX0852-62-1455　関西支社 〒530-0047 大阪市北区西天満3-13-18島根ビル6F　TEL06-6362-9734　FAX06-6364-7470

出雲・玉造温泉　長楽園グループ　代表取締役社長 長谷川 浩司　株式会社 長楽園　島根県松江市玉湯町玉造323　TEL 0852-62-0111　株式会社 玉造国際ホテル　島根県松江市玉湯町湯町148-2　TEL 0852-62-0531　有限会社 長楽クリエイト

三河湾国定公園 蒲郡温泉　ホテル竹島　代表取締役社長 太田行彦　〒443-0031 蒲郡市竹島町一一六　TEL〇五三三(69)一二五六

淡路島・洲本温泉　淡路インターナショナルホテル　ザ・サンプラザ　代表取締役 樫本文昭　洲本市小路谷一二七九―一三　TEL〇七九九(二三)二二二二

記念日の宿　海栄RYOKANS　愛知・三重・愛媛・富山・山梨に17の旅館　ARIGATO STAY　7月金沢・鈴鹿に3ホテルオープン　代表取締役社長 渡邉 玲緒　〒470-3322 愛知県知多郡南知多町大字山海字屋敷47

奈良公園一ノ鳥居横　四季亭　代表取締役 太井信太朗　〒630-8301 奈良市高畑町一一六三番地　電話(〇七四二)二二一五五三二(代)

国際観光ホテル整備法登録旅館　山陰 湯村温泉 佳泉郷 井づつや　代表取締役社長 丸上宗慈　〒669-6821 兵庫県美方郡新温泉町湯一五三五　TEL〇七九六(九二)二一二一　FAX〇七九六(九二)二一三三　URL https://www.izutuya.com

ケーブルカーで登る 天空露天風呂と囲炉裏の宿　新祖谷温泉 ホテルかずら橋　代表取締役社長 谷口栄司　徳島県三好市西祖谷山村善徳33の1　TEL 〇八八三―八七―二一七一

萬象閣・敷島　「お客様が何を望んでいらっしゃるか」をいつも心に……　代表取締役 山口昇一郎　〒843-0304 佐賀県嬉野市嬉野町大字岩屋川内甲二四番地一　TEL〇九五四―四三―三一三五　FAX〇九五四―四二―一三二六

夢千代の里―湯村温泉　政府登録国際観光旅館　朝野家　代表取締役社長 朝野泰昌　〒669-6821 兵庫県美方郡新温泉町湯一二六九　☎0796(92)1000(代)

木の香 潮の香 湯の香り　紀州・白浜温泉 むさし　代表取締役 沼田久博　〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町868　TEL 0739-43-0634(代)　FAX 0739-82-2020

下呂温泉　ホテルくさかべアルメリア　(株)アルメリア・スパ・アンド・リゾーツ　代表取締役社長 日下部孝　岐阜県下呂市幸田一八一一　電話 〇五七六―二四―二〇二〇(代)　FAX 〇五七六―二四―二八七〇

創業参百余年　肥後・豊後くにざかい伝承の宿　つえたて温泉　杖立渓流の宿　ひぜんや　大自然吉祥の湯　代表取締役社長 河津豊四郎

～大阪・道頓堀川畔～　大和屋本店　代表取締役 石橋政治郎　女将 石橋利栄　〒542-0082 大阪市中央区島之内2-17-4　TEL(06)6211-3587 FAX(06)6212-1553　http://www.yamatoyahonten.co.jp

北陸／山代温泉　たちばな四季亭　代表取締役社長 和田守弘　〒922-0256 石川県加賀市山代温泉万松園通16番地　TEL／0761-77-0001　FAX／0761-76-0001　https://www.shikitei.com/

山陰・米子・皆生温泉　四季を奏でるさらさの宿　皆生つるや　代表取締役 宇田川英二　〒683-0001 米子市皆生温泉2丁目5番1号　TEL〇八五九(22)六一八一

金沢犀川温泉　川端の湯宿　滝亭　代表取締役 谷崎裕　〒920-1302 石川県金沢市末町23-10　TEL:076-229-1122 FAX:076-229-1680　https://www.takitei.co.jp/

"日本列島最後の秘境"　大牧温泉観光旅館　代表取締役社長 水上一成　〒932-0371 富山県南砺市利賀村大牧44　TEL：0763-82-0363　FAX：0763-82-0933　https://www.oomaki.jp/

金太郎温泉　代表取締役社長 木下荘司　富山県魚津市天神野新6000番地　電話(0765)-24-1220

飛騨高山　本陣平野屋　花水庵　別館　代表取締役社長 有巣秀司　〒506-0011 岐阜県高山市本町一　TEL〇五七七(三四)二三四(代)　FAX〇五七七(三四)七七二一　http://www.honjinhiranoya.com